

短期金融市場

テキスト 68P

長いモノでも 120 日

→やがてロンドンが長期金融市場として機能するようになる

きっかけ

1817 年～ 1818 年、都合 5 回に分けて

ナポレオン戦争後、賠償金支払いのため、フランス政府が公債を発行。

これを契機にして、各国がロンドンを舞台に資金調達をする。

→オーストリア、ロシア、プロシア、南米諸国、アメリカ合衆国(連邦債、州債)

→通常はマーチャントバンカー経由で

世界通商への影響～市場的な連関を通じて～

☆アメリカ合衆国の鉄道の例

ブラジル：コーヒー、砂糖のプランテーション

欧州の国々による熱帯、亜熱帯産品の「直接輸入」

→各国の購買力が増した

「産業革命」・・・綿工業

☆世界商品市場の成立

→物流のための輸送・交通手段が発達

テキスト 84P

水上：蒸気船の導入

1811 年：イギリスで最初の蒸気船

1824 年：general steam navigation comany

陸上：鉄道(蒸気機関車の導入)

1804 年：Merthyr Tydfil Railway 社による試験導入

1812 年：Leeds の鉄道による恒常的導入

1825 年：ストックトン=ダーリントン鉄道開業

1830 年：リヴァプール=マンチェスター鉄道開業

→ 1843 年～ 1853 年：「鉄道熱」の時代

欧州大陸でも鉄道建設が盛んになる

ベルギー：レオポルド 1 世の発案で鉄道建設

1835 年：ブリュッセル～メケレン開業

資金の調達は？

616 万ポンド→ 581 万ポンドを政府債で

1836 年 110 万ポンド 金利 4% ロスチャイルド

フランス：アングロ＝フレンチ協力体制のもとに鉄道建設が進む  
建設業者、建設資材、蒸気機関車、エンジニアなどもイギリスから

ドイツ：国有鉄道が中心

1838年：鉄道法

1842年：鉄道基金→民間鉄道会社に資金供与

アメリカ合衆国

民間の鉄道会社へ州政府が資金援助

→ロンドンで州債の売却

州債の用途：運河・河川の改修、鉄道建設、銀行設立

世界金融市場があったから、資金調達ができた

テキスト 104P

「世界の地域別鉄道の総延長キロ数」

ヨーロッパ、北アメリカが先行、中心的に発展

テキスト 107P

「イギリスからの鉄道用鉄材の輸出高」

1861～1865年：南北戦争による落ち込み

テキスト 108P

「イギリスからの鉄鋼の輸出額」

1850～1870年のわずか20年間でなんと、3.5倍の伸び!!

イギリスから

蒸気機関車の輸出

1860～1889年：8957台

→イギリス国内生産の60.3%

機械の輸出

1846～1850年：100万ポンド

1851～1855年：350万ポンド

まとめ

世界的通商の拡大→世界的鉄道建設の進展

→ロンドンからの資金調達、イギリス鉄工業からの建設資材調達

→世界資本主義の第二段階へ

「鉄工業資本主義の時代」(1850年～1870年)

テキスト 127 P参照

1861～1865年：南北戦争

→綿花の輸入が途絶えた。「綿花飢饉」

エジプトで綿花生産が急速に拡大!!

テキスト 127P

「ヨーロッパ全域への綿花供給地のうちアメリカ合衆国、東インド、エジプトの占める割合」

鉄工業の時代(1850～)

→鋼鉄を安価に大量に生産する技術の発展

1856年：ベッセマー転炉製鋼法

1875年：トマス=ギルクリスト製鋼法

1865年：シーメンス=マルタン平炉製鋼法

テキスト 134P

「主要国の銑鉄生産に対する錬鉄生産の比率」

イギリスは先行したが、普及に時間が掛かった。

アメリカ・ドイツは導入に遅れを取ったが、急速に普及した。

→「鋼の時代」(重工業)への転換

☆特定の地域の製鋼業が世界の製鋼所とはならなかった

テキスト 136P

「世界の製鋼業国の粗鋼生産高」

テキスト 137P

「イギリス、ドイツ、ベルギー、アメリカ合衆国、フランスからの銑鉄を除く鉄鋼の輸出高」

→アメリカは生産高は高くなったが、あまり輸出されなかった。(国内消費された)

テキスト 138P

「鉄道レールの主要国の輸出高」

☆設備が大型化→多額の設備資金

→「協調による競争」(国際的・国内協調)

→カルテル、コンツェルンの形成

テキスト 143P

「主要鉄鋼業国における高炉の大型化の進行状況」

☆企業合同

上昇的統合：原料・燃料の部門

下降的統合：鋼鉄の2次3次的応用の部門

(圧延鋼材、構造材、橋梁材 etc.)

☆副産物の生成→化学工業の発生

ガス

タール→染料、医薬品

アンモニア→冷凍・冷蔵

硝酸→セルロイド、火薬、肥料

世界資本主義の第三段階

重工業資本主義の時代(1870～1914年)